

【面接官の印象】

1. 外国人面接官(以下 NS)について
女性で、リラックスした雰囲気の良い感じの方でした。全体が自然な会話みたいな感じであつという間に終わってしまいました。
2. 通訳ガイド(以下 TG)について
女性で、ちょっと美形な感じの、しっかりしていて、でも嫌みのない方でした。

どちらかという、NS は英語の相手で、採点は TG がしっかり、厳しくつけているのでは・・・ という印象でした。

【面接試験の実際】

	<p>まず大きな(座るところは窮屈な・・・)ところに、多分この時間帯の受験生全員が入り、そこから少し小さめの部屋に移り、そしてまた、8人(10人?)くらいずつ移動になったので、また更に小さな部屋で待つのかと思ったら、こんどは各自、実際の受験が行われている教室のそとの廊下の椅子でした。で、前の人が試験を終えて出てきて、しばらくしてすぐ次の面接でした。</p> <p>入って2人の面接官に Good Afternoon と言って横をみると、三つの椅子が置いてあり、ひとつにはペンと紙。一瞬荷物をどこにおこうかと思ったら、面接官の日本人女性(TG)がそこにおいてください(日本語だったと思います)といわれたので、椅子に置き、真ん中の椅子に座りました。</p> <p>まず、英語で名前を聞かれました。その後、TG に番号を聞かれました。最初何の番号のことか、わからなくて、受験番号とわかって、でも覚えていなかったし、唐突で「えっ、覚えていないんですけど」という感じで、そしたら「ああ、大丈夫です」みたいな感じでした。ただ事務的な確認であったのか、これに何か意味があったのか、は不明です。(確か日本語での会話だったと思いますが、どちら語で話していたのか今考えると自分でも不明です)。</p>
--	---

3. 通訳試験について

TG	<p>TGから日本語で試験の方法の説明。そして通訳の内容が読み上げられました。</p> <p>「日本人は余暇に温泉に行くのを楽しみます。温かいお湯につかり、まわりの山や・・・」</p>
----	--

I	<p>内容的には簡単で、表現するのに難しい単語ありませんでした。ただ、自分はメモを取るのが苦手です。いつも自分の書いたメモが何を意味するのかわからなくなってしまいます。これくらいの長さだったら、数字以外はメモはとらずに、内容に集中するようにした方がいいかも……。で、最後の方向だったかよくわからなくなり、適当な記憶で話してしまいました。</p> <p>確か最初の説明で通訳は1分以内で話してくださいと言われていたような気がします。</p>
---	---

4. 2分間プレゼンテーションについて

カードの内容	<p>三枚のカードが渡されました。内容は思ったより簡単なものでした。</p> <p>「絵馬」 「富士山」 「19世紀の……」</p>
I	<p>絵馬と富士山で迷いましたが、絵馬にしました。典型的な絵馬の説明文をきちんと暗記していませんでしたが、一応つかえることなく話せたと思います。</p>

5. 質疑応答について

NS	<p>スピーチ後の、NSの質問は、絵馬はどんな形をしているかというものでした。</p>
I	<p>これも、典型的な表現方法を覚えていなかったのが、英語で手を使って説明すると、「ああ、家みたいな形ね」という感じでした。あと、絵馬を持っていくのかというようなことを聞かれたので、お寺や神社で売っていてそれを買って願い事を書いて、お寺や神舎にあるボードに掛けてくるのだと説明しました。</p>
NS	<p>スピーチの中で「今は馬だけでなく、いろいろな絵が描かれているものがあり、違ったものをコレクションしている人もいます」といったので、そのことについて……</p> <p>Do you collect them?</p>
I	<p>No.</p>

NS	Do you know someone collecting them? だったか、Does any of your friends collect them?
I	No. But I hear there are some people who like to collect them.

【試験を終えて】

面接自体は、張り詰めたものではなく、楽しく、自然な雰囲気でした。

ちなみに、受験生の服装については、年配の男性はほぼ全員スーツにネクタイ。若い男性で割とカジュアルな感じの人を数人見かけましたが、それ以外はスーツかジャケットで皆きちんとした服装でした。

女性は様々、着物の方は私の見た限りでは3名ほどいました。完璧スーツ姿はそれほど多くなかったようです。皆それなりに、きちんとした服装でした。Gパンの女性が一人いました。